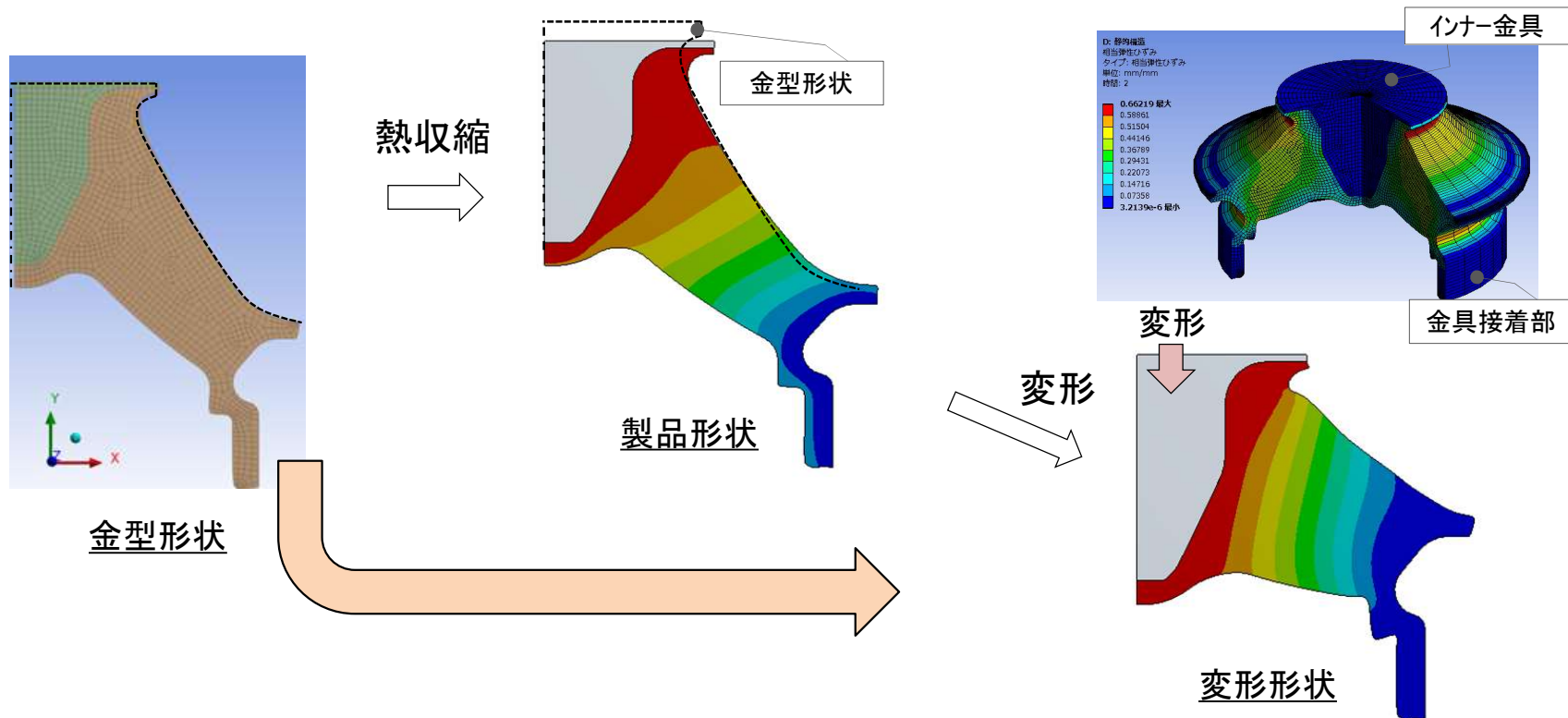


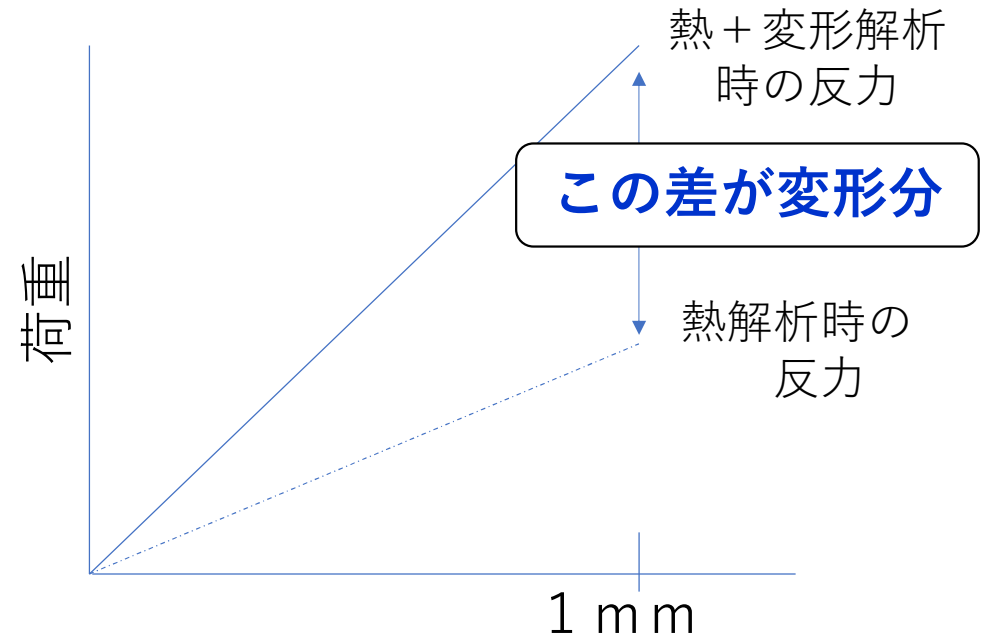
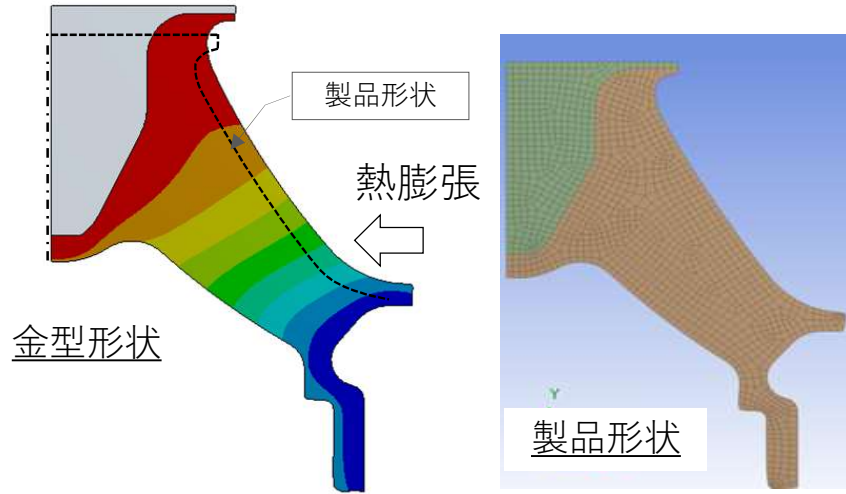
線形解析ソフトでの

熱 + 変形解析 = 非線形解析



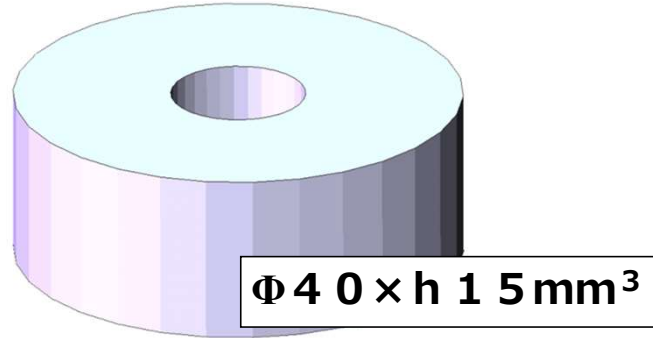
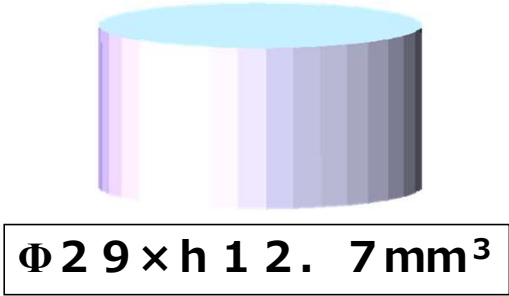
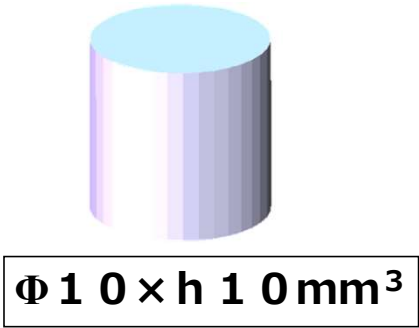
1段階で解析できるものは **線形ソフトで解析可能**

金具接着タイプは基本として熱膨張 ⇒ひずみキャンセル



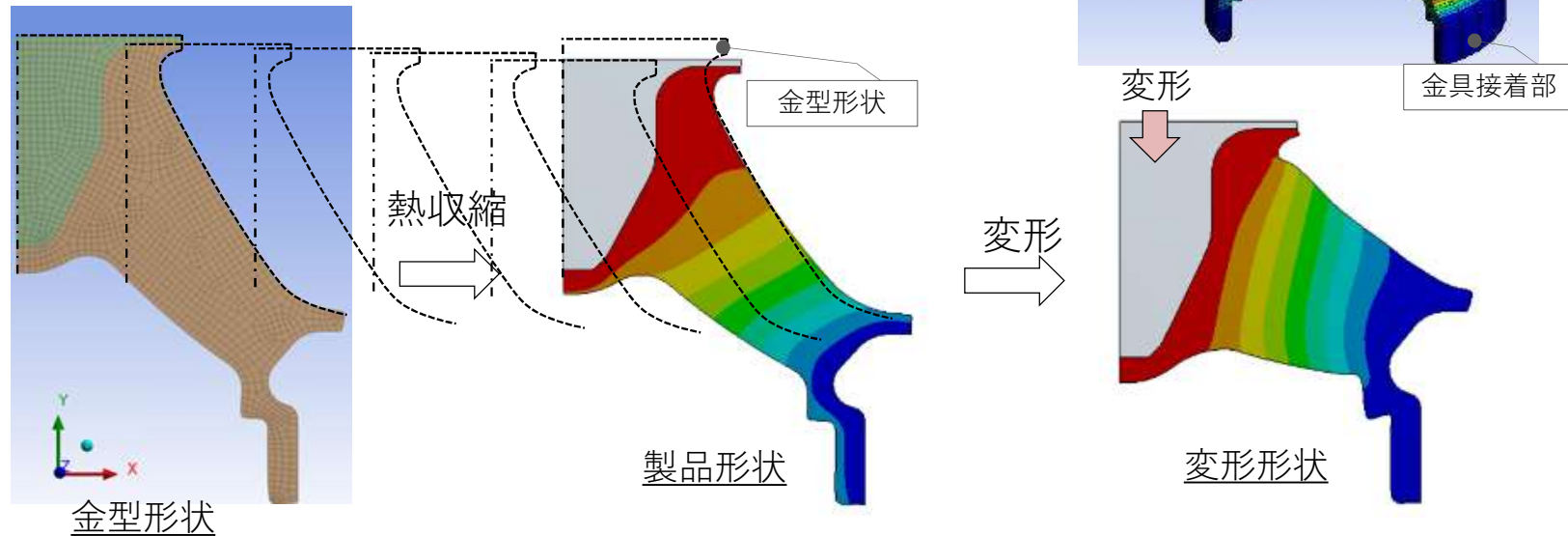
ゴム単体製品はそのまま解析

他の条件が入っても、この差ができるよう条件付け



ゴムのFEM解析 基本フロー

ゴム単製品は、そのまま変形解析を行えばいいですが、
金具接着タイプは、**熱収縮解析が必須**だと考えます。



製品の加工工程を考慮することは、ゴム製品のみではなくすべての製品に当てはまります。

金型形状 ⇒ **(熱履歴) 熱収縮** ⇒ **変形解析** の手順を守ること、
解析による**予測精度を格段に向上**させることができます。